保護者の皆様

札幌市立あやめ野小学校
校長 安藤 英美

令和6年度 文部科学省「全国学力・学習状況調査」の結果について

深冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、今春に6年生児童を対象に実施されました標記調査の結果につきまして、このたび校内での分析も終え、本校全体の児童の課題や改善の方向について以下のとおりまとめましたので、お知らせいたします。

本校の概要

【領域】

- 「話すこと・聞くこと」
・全国平均に比べ、下回っている。
- 「書くこと」
・全国平均に比べ、下回っている。
- 「読むこと」
・全国平均に比べ、下回っている。
- 「知識・技能」
・全国平均に比べ、下回っている。
- 「思考・判断・表現」
・全国平均に比べ、下回っている。

【回答方式による正答率】

- 「選択式」
・全国平均に比べ、下回っている。
- 「短答式」
・全国平均に比べ、同程度である。
- 「記述式」
・全国平均に比べ、下回っている。

今回の調査における課題

- 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
- 話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。
- 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝える内容を検討すること。

改善の方向

- 自分の考えを整理し、相手に伝わるように文章に書き表す機会の充実。
- 日常的に使用するノートやワークシートに対して、話し言葉・書き言葉の意識を高める関わり。
- 文章中に用いられている図表などが、文章のどの部分と結び付くのかを明らかにし、語句と語句の関係を整理しながら文章理解を深める学習の充実。
- 日常の授業の他、係活動や委員会活動等も含めた、他者を意識した話し合いの場の充実。

国
語

【領域】

- 「数と計算」
・全国平均に比べ、下回っている。
- 「図形」
・全国平均に比べ、同程度である。
- 「変化と関係」
・全国平均に比べ、上回っている。
- 「データの活用」
・全国平均に比べ、下回っている。
- 「知識・技能」
・全国平均に比べ、下回っている。
- 「思考・判断・表現」
・全国平均に比べ、同程度である。

【回答方式による正答率】

- 「選択式」
・全国平均に比べ、下回っている。
- 「短答式」
・全国平均に比べ、下回っている。
- 「記述式」
・全国平均に比べ、下回っている。

- 除数が小数である場合の除法の計算をすること。
- 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること。
- 簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理すること。
- 直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解すること。

- 基礎的・基本的な問題を素早く正確に解くための、反復学習の習慣化。
- 活用問題に取り組む場において、自分の考えを整理し、言葉と数を使って文章に書き表す機会の充実。
- 表やグラフに対し、正確に読み取ったり、整理しながら丁寧に記録したりする学習の充実
- 図形の性質について正しく理解し、その性質を活用して問題解決に向かう学習の充実。

算
数

【生活面】

《全国平均より上回っている項目》

- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか（肯定的な回答をした児童が 84.6% ※全国平均 71.1%）
 - 人が困っているときは、進んで助けていますか
（肯定的な回答をした児童が 100.0% ※全国平均 92.7%）
 - 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか（肯定的な回答をした児童が 92.3% ※全国平均 80.7%）
 - 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
（肯定的な回答をした児童が 80.8% ※全国平均 75.8%）
 - 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか（肯定的な回答をした児童が 96.2% ※全国平均 86.3%）
- ※きまりを守り、積極的に他者とコミュニケーションをとることができ、探究心をもって活動する意識の高い児童が多いことが分かります。

《ICT 機器の利用に関する項目》

- ICT 機器を使うと、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。
（肯定的な回答をした児童が 96.1% ※全国平均 85.5%）
 - ICT 機器を使うと、楽しみながら学習を進めることができる。
（肯定的な回答をした児童が 96.2% ※全国平均 86.0%）
 - ICT 機器を使うと、画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる。
（肯定的な回答をした児童が 96.2% ※全国平均 89.8%）
 - ICT 機器を使うと、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。
（肯定的な回答をした児童が 92.3% ※全国平均 79.2%）
- ※ICT 機器を活用することで、自分のペースで楽しく学び、理解を深めることができると考える児童が多いことが分かります。

《全国平均より下回っている項目》

- 自分には、よいところがあると思いますか。
（肯定的な回答をした児童 77.0% ※全国平均 84.1%）
 - 将来の夢や目標を持っていますか。
（肯定的な回答をした児童 65.4% ※全国平均 82.4%）
 - いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
（肯定的な回答をした児童 92.3% ※全国平均 96.7%）
 - 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。
（肯定的な回答をした児童 84.6% ※全国平均 91.6%）
- ※子ども一人一人の自己肯定感・自己有用感、そして他者意識を高めていくための手だてや関りが重要であることが分かります。

【国語・算数・英語について】

《教科に関する質問から見えてきた傾向》

- ・国語に対する認識として、全国平均に比べ、必要感をあまり感じていない児童が多い。また、授業への参加についても、情報を整理したりまとめたり、伝わりやすく工夫したりすることに消極的な児童が多い。
- ・算数に対する認識として、全国平均に比べ、算数の学習は必要だと考える児童が多いものの、授業内容に対する理解度は低いと感じる児童も多い。
- ・理科に対する認識として、理科が好きで疑問をもつことも好きだが、予想をもとに実験・観察の計画を立てることを苦手を感じる児童が多い。
- ・英語に対する認識として、全国平均に比べ、大切さや理解度については同程度ではあるが、苦手を感じている児童が多い。

今回明らかになった課題の解決に向け、授業改善等に取り組んでまいります。

【全国平均正答率と比較して、以下の規準でお伝えしています。】

- ・ +3.1ポイント以上 ⇒ 「上回っている」
- ・ +1.0～+3.0ポイントの範囲内で全国平均以上 ⇒ 「ほぼ同程度であるが、やや上回る」
- ・ 全国平均と同じ ⇒ 「同程度」
- ・ -1.0～-3.0ポイントの範囲内で全国平均以上 ⇒ 「ほぼ同程度であるが、やや下回る」
- ・ -3.1ポイント以下 ⇒ 「下回っている」